

# 産業廃棄物 処分実績報告書 <令和6年度実績>

(中間処理・最終処分・処理施設)

作成日

令和7年〇月〇日

《記入例》

神戸市環境局長 宛

「中間処理」と「最終処分」の両方の許可を有する場合は、中間処理と最終処分それぞれで1ファイルを作成してください。

産業廃棄物			報 告 者	法人名	〇〇株式会社
処分実績の有無 (いずれかに〇印をつけてください。)	〇	有		代表者名	代表取締役 〇〇 〇〇
		無		電話番号	078-XXX-XXXX

産業廃棄物の処分実績について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第18条第1項の規定により、次のとおり報告します。

産業廃棄物の処分実績状況	別紙1のとおり	産業廃棄物の年間受入量	1,560	t / 年
処分した後(中間処理後)の産業廃棄物の処分状況	別紙2のとおり			

別紙1の「受入量」の合計値を記載してください

# 《記入例》

A列 B列 C列 D列 E列 F列 G列 I列

## 産業廃棄物の処分実績状況 ＜令和6年度実績＞

(別紙1)

通し 番号	排出事業者及び産業廃棄物の発生場所			産業廃棄物の種類・受入量・処分方法				
	排出事業者の名称	発生場所 (都道府県市名)	場所 コード	産業廃棄物の種類	廃棄物 コード	受入量	単位	処分方法
1	〇〇化学(株)	神戸市	69	汚泥	200	300	t	選別
2	〇〇建設工業(株)	神戸市	69	がれき類	1500	1000	t	焼却
3	□□工業(株)	神戸市	69	廃プラスチック類	600	150	t	中和
4	(株)〇〇	神戸市	69	廃プラスチック類	600	100	t	破碎
5	□□(株)	神戸市	69	廃プラスチック類	600	100	t	破碎
6	〇〇産業(株)	神戸市	69	廃プラスチック類	600	50	t	選別
7	△△食品(株)	川崎市	57	廃酸	400	10	t	混合
8	××(株)××工場	西宮市	99	廃アルカリ	500	100	t	焼却

- ＜処分方法の中間処理の選択例＞
- 乾燥: 「その他中間処理」を選択
  - 減容固化: 「減容」を選択
  - 固型化: 「その他中間処理」を選択
  - 蒸留再生: 「その他中間処理」を選択
  - 切削: 「切断」を選択
  - 切断・圧縮: 「切断」を選択
  - 洗浄: 「その他中間処理」を選択
  - 選別・圧縮: 「選別」を選択
  - 選別・破碎: 「選別」を選択
  - 造粒固化: 「固化」を選択
  - 脱油: 「その他中間処理」を選択
  - 脱水: 「その他中間処理」を選択
  - 中和・凝集沈殿: 「その他中間処理」を選択
  - 破碎・圧縮: 「圧縮」を選択
  - 破碎・加熱処理: 「破碎」を選択

単位が立方メートル (m<sup>3</sup>) の場合は、コード表の表2の換算係数を使用して、単位をトン

選択してください (リストはコード表の表4)。  
 同一の産業廃棄物に対して複数回の処分を行う場合は、1回目の処分を行った施設の情報を入力してください。  
 以下のフローの場合、処分方法は「選別」と入力してください。

```

    廃プラスチック類 → 選別 → 破碎
    
```

・特別管理産業廃棄物の場合も同様です (E列では、特別管理産業廃棄物の種類を選択してください)。

(別紙 2)

### 中間処理後の産業廃棄物の処分状況 ＜令和 6 年度実績＞

通し 番号	中間処理を行った事業場 (=貴社)				中間処理後物の処分状況				
	中間処理後の 廃棄物の種類	廃棄物 コード	廃棄物 処分量	単 位	処分者 (貴社以外)				
					処分者の名称	処分業の 許可番号	処分場所 (都道府県市名)	処分 場所 コード	処分方法
1	ばいじん	1800	20	t	(株)〇〇開発	069XXXXXXXX	神戸市	69	管理型埋立
2	廃アルカリ	500	90	t	〇〇工業(株)	038XXXXXXXX	愛媛県	38	焼却

単位が立方メートル  
(m<sup>3</sup>) の場合は、コード  
表の表 2 の換算係数を使  
用して、単位をトン  
(t) に換算した数値を

貴社事業場で処分(中間処理)  
した処理後物を、さらに貴社以  
外の別の処分者が処分(中間  
処理又は最終処分等)を行った  
場合に記載してください。